

財団法人横浜企業経営支援財団

高知大学と産学連携協定を締結

財団が進める「広域的産学官連携システム」の
四国展開第一弾！

(財)横浜企業経営支援財団(理事長 清水利光) IDEC は、横浜市内企業の経営を支援する唯一の公的支援機関として、総合的・継続的な支援体制による事業を積極的に展開しており、昨年度からは経営支援体制の充実・強化を図るため、金融機関(3大メガを含む6金融機関)や(株)知財マネジメント支援機構、市外大学(東海大学)、県外大学(早稲田大学、同志社大学、関西大学、関西学院大学、山口大学)と戦略的業務提携を締結してまいりました。

本日、**四国の大学との連携は初となる** [国立大学法人高知大学](#)と産学連携に関する協定書を締結いたしました。

高知大学は、1922年設立の旧制高知高等学校などを母体として、1949年に新制大学として設立されました。現在、5学部・1研究科からなり、学部生：4,945名、大学院生：658名(連合農学研究科を除く)、計5,603名を擁します。同大はシーズ資源が豊かで「地域を敬い、人を愛する 敬地愛人」の理念を掲げつつ、「地域の発展のために」というミッションを追求する大学です。

財団では高知大発の農業、水産、医療、工業などの技術シーズを市内企業の事業ニーズに結びつけます。特に同大の「食」に関するシーズ「環食同源」は全国的にも注目を集める事業で環境にやさしい新たな循環型の農水産システム、生物生産環境の保全、高付加価値製品の創出を狙うプロジェクトです。財団が進めようとしている「農工連携事業」の中核大学として位置付け、具体的に事業を進めます。

また、高知大は「コラボレーション型インターンシップ(CBI)」という長期間、企業の協力を得て総合的にインターンシップを行う事業を実施しています。財団は、同大のシーズに関心を持つ横浜のベンチャー企業等を受け入れ先として紹介することにより横浜・高知大間の連携を促進します。

財団を中心とした全国初の広域的産学官連携システム(横浜をベースとした、全国の大学と市内企業を結びつける産学連携体制)のさらなる拡充に向けた高知大学との連携は、四国地区展開 第1弾、国立大学との連携としては第2弾となる締結です。

今後は全国の国立大学へネットワークを広げ、キメ細かく質の高い支援体制を構築することで市内中小企業が抱える経営課題の解決及び企業経営の安定と発展に向けて各種事業を強力に推進してまいります。

横浜企業経営支援財団と高知大学との主な業務提携内容

1 高知大学の横浜市をコアにした首都圏における産学官連携の推進

高知大学が保有する技術シーズの市内企業での事業化を目指した研究推進体制の編成、ならびに知財の流通や新たな技術開発を促進し、産学官による地域連携を推進します。

- (1) 横浜市技術リエゾンプロデューサー（ILP）との意見交換会
- (2) 高知大学の環食同源、グリーンサイエンスなどの拠点プロジェクト研究シーズ（医学部、農学部、理学部等）と横浜市内企業ニーズとのマッチング
- (3) 高知大学特許出願案件の紹介（ライセンス活動）
- (4) 産学連携プロジェクト企画、競争的資金への申請体制の構築
- (5) 横浜企業訪問（関係研究者、産学連携コーディネータ、ILP と訪問）
- (6) 財団主催の産学交流サロン（実績 137 回開催）
第1次産業、第1・5次産業、健康医療分野における技術シーズの発表
- (7) テクニカルショウヨコハマ2010における機能性素材（食品用、化粧品用）、電子デバイス材料（無機材料、有機材料）等出展

2 人材育成事業の推進

- (1) コラボレーション型インターンシップ事業（CBI）の支援
首都圏のベンチャー企業及び高知県内企業・NPO 企業等で長期間（約2ヶ月～4ヶ月）の実践型インターンシップを行う高知大学 CBI 事業の受け入れ先を紹介する。
- (2) 若手研究者の首都圏での活動支援
- (3) 市内学生の高知へのインターンシップ派遣支援

3 財団が保有する産学官 - 金融連携ネットワークの活用

財団が進める知財マネジメント支援機構や金融機関との戦略的提携による産学官 - 金融連携ネットワークの構築を通じて、産学連携の機会創出から技術評価、融資までのワンストップ支援を行います。高知大学が「横浜産学リエゾン会議」（連携 15 大学を中心とする産学連携事務局ネットワーク）に参加し、財団のネットワークの拡大・強化をはかります。

4 IDEC横浜産学連携サテライトの活用

財団は平成21年度に設置する横浜産学連携サテライトのスペースを提供します。高知大学は首都圏における技術リエゾン及び人材育成拠点として位置付け、活用します。

